

経営学部 第1部 コンサルティングコース 2020年度入学生
履修ガイダンス資料

1 卒業に必要な単位数

合計 124 単位

⇒『履修のてびき』P.9

⇒『履修のてびき』

P. B-17

分野・区分			必要単位数		
全学 共通科目	外国語科目	必修外国語科目 *1ヶ国語or2ヶ国語	第1外国語 8単位	8単位	
			or		
		選択外国語科目	第1外国語 4単位	8単位	
			第2外国語 4単位		
	広域科目	①思想と文化		2単位	
		②歴史と社会		2単位	
		③健康とスポーツ		2単位	
		④自然と生活		2単位	
		⑤共通特殊講義			
		⑥キャリア形成科目		2単位	
<p>【重要】「①思想と文化」「②歴史と社会」の分野は、学部指定科目からそれぞれ1科目2単位を含むこと！含まないと卒業できません。</p> <p>①…哲学入門、心理学入門、倫理学入門、芸術学入門</p> <p>②…歴史学入門、政治学入門、経済学入門、統計学入門、社会学入門</p>			合計 24単位		
学部 基礎科目	必修	現代経営入門Ⅰ 現代経営入門Ⅱ ビジネス法入門Ⅰ ビジネス法入門Ⅱ 情報実習Ⅰ	10単位		
	選択	情報実習Ⅱ 会計基礎論Ⅰ 会計基礎論Ⅱ キャリア設計 会計基礎論(中級)Ⅰ 会計基礎論(中級)Ⅱ	合計 12単位		
学科 専門科目	(A) 必修科目	コンサル基礎演習Ⅰ コンサル基礎演習Ⅱ コンサル基礎演習Ⅲ マネジメントゲーム コーチング&メンタリング	民法入門 契約法 会社法 財務会計論入門 経営学	28単位	
	(B) 選択科目			32単位	
	(C) 選択科目	(a)	本コースに配当されていない第1部経営、ビジネス法、第2部経営学科の科目。		18単位
		(b)	全学共通科目[外国語科目・広域科目]の余剰単位、全学共通科目[オープン科目]。		
(D) 演習科目			10単位		

注1. 全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

1 外国語科目 8 単位必修

【1ヶ国語選択者】 第1外国語のみを1年～2年次に履修

学年	春学期	秋学期
1年次	**語Ⅰa (1単位)	**語Ⅱa (1単位)
	**語Ⅰb (1単位)	**語Ⅱb (1単位)
2年次	**語Ⅲa (1単位)	**語Ⅳa (1単位)
	**語Ⅲb (1単位)	**語Ⅳb (1単位)

⇒『履修のてびき』P.42～44

☆「必修」
単位を絶対に修得しないと卒業できない科目のこと。
単位が修得できなかった場合は「再履修」。

【2ヶ国語選択者】 第1外国語と第2外国語を“1年次”に履修

(第1外国語、第2外国語) 各4単位

学年	春学期	秋学期
1年次	▲▲語Ⅰa (1単位)	▲▲語Ⅱa (1単位)
	▲▲語Ⅰb (1単位)	▲▲語Ⅱb (1単位)
	●●語Ⅰa (1単位)	●●語Ⅱa (1単位)
	●●語Ⅰb (1単位)	●●語Ⅱb (1単位)

⇒『履修のてびき』P.45

2 選択外国語科目

2単位必要。余剰単位は広域科目の単位として振り替えることができる。

3 広域科目

①思想と文化、②歴史と社会、③健康とスポーツ、④自然と生活、⑥キャリア形成科目
それぞれから2単位ずつ必要。

※ただし、①②の分野は、下記の学部指定科目からそれぞれ1科目2単位を含めなければならない。

「①思想と文化」…哲学入門、心理学入門、倫理学入門、芸術学入門

「②歴史と社会」…歴史学入門、政治学入門、経済学入門、統計学入門、社会学入門

⇒『履修のてびき』P.46-47

⇒『年次配当表・時間割表』

P.17-18、P.74

この条件を満たして、外国語科目と合わせて24単位以上になるように適宜履修。

* ③健康とスポーツ

- ◇『～方法学』科目は1年の秋学期から履修可能。
- ◇1科目2単位を超えての履修はできない。

* ⑥キャリア形成科目

- ◇2科目4単位を上限とし、これ以上は学科専攻科目への振り替えはできない。

* 24単位を超えてしまった場合

- ◇全学共通科目〔オープン科目〕の修得単位とあわせて、(C) 選択科目に振り替えられる。(最大8単位)

4 学部基礎科目

12単位必要。うち10単位は必修科目。

1年次に全9科目を履修することが望ましい。

12単位を超える単位は、(B) 区分に振り替えられる。

★「キャリア設計」以外は、大学が指定するクラスで極力履修すること。

学年	必修・選択	春学期	秋学期
1年次	必修科目 (10単位)	現代経営入門Ⅰ ビジネス法入門Ⅰ 情報実習Ⅰ	現代経営入門Ⅱ ビジネス法入門Ⅱ
	選択科目	会計基礎論Ⅰ ★キャリア設計	情報実習Ⅱ 会計基礎論Ⅱ ★キャリア設計
		会計基礎論(中級)Ⅰ	会計基礎論(中級)Ⅱ

※全て2単位科目

⇒『履修のてびき』P. B-18

⇒『年次配当表・時間割表』

P.42、P.100

*全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

※「キャリア設計」は春・秋学期で合計10クラス開講。

5 (A) 必修科目

28 単位必修。

大学が指定するクラスで履修すること。

1 年次 春学期	1 年次 秋学期	2 年次～
民法入門 コンサル基礎演習 I コーチング&メンタリング	コンサル基礎演習 II マネジメントゲーム	コンサル基礎演習 III、契約法 会社法、財務会計論入門 経営学

※マネジメントゲーム、契約法、会社法、経営学は 4 単位、以外は全て 2 単位科目

⇒『履修のてびき』

P. B-19

6 (B) 選択科目

32 単位必要。

32 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

7 (C) 選択科目

18 単位必要。

(B) 選択科目、(D) 演習科目の卒業必要単位数を超える単位を含めることができる。

① (C) - (a)

本コースに配当されていない第 1 部経営、ビジネス法、第 2 部経営学科の科目。
ただし別に定める同種科目は重複履修できない。

② (C) - (b)

全学共通科目 [外国語科目・広域科目] の余剰の単位、および本学部配当されていない全学共通科目 [オープン科目] (最大 8 単位まで)。

☆「別に定める…」
⇒『年次配当表・時間割表』
P.50

⇒『履修のてびき』 p.48

⇒『年次配当表・時間割表』
P.18、P.42

☆「全学共通科目 [オープン科目]」
他学部が開放している科目。
オープン科目「グローバル科目」は、すべて英語による授業。

☆「演習科目」
ゼミ。非常に大切な科目です。
必ず履修しましょう。

☆「特別演習」
「演習 I」に加え「特別演習」
を同時に履修することが必要なゼミもあります。

8 (D) 演習科目

10 単位必要。

10 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

演習科目	学年	春学期	秋学期
	2 年次	—	演習 I、特別演習
	3 年次	演習 II	演習 III
	4 年次	卒業研究 (通年)	

※卒業研究は 4 単位科目、他 2 単位科目

① 演習 I、特別演習

2 年次の春学期に別途募集。

② 演習 II、演習 III

演習 I に引き続き、同じゼミで履修。

③ 卒業研究

演習 III に引き続き、同じゼミで履修。

2 履修登録について

1 科目の選択について

毎学期、卒業に必要な科目を優先して選択する。

『履修のてびき』『年次配当表・時間割表』『講義計画 (シラバス)』『KVC の掲示』を確認すること。

2 履修できる科目について

*『年次配当表・時間割表』の配当年次に適合する学年の科目が履修可能。

*同じ科目は重複して履修できない。

*大学に指定された科目は必ず履修。

*先修条件を満たした科目。

3 履修できる単位数について

以下に定められた単位数以内で科目を選択する。

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
単位数	22	22	24	24	24	24	24	24	188

⇒『履修のてびき』 P.12

☆「先修条件」
前提となる科目を修得していないと履修できないこと。ハイレベルな内容を取り扱う科目に多い。

⇒『履修のてびき』 P.13

4 予備登録について

受講者が多くなる全学共通科目（健康とスポーツ科目など）、コンピュータ実習室を利用する学科専攻科目は、希望者全員を受け入れることが困難。そのため事前に希望を登録し受講者数を調整することを**予備登録**という。

⇒『履修のてびき』P.13

⇒別紙
『2020 年度春学期
予備登録について』

5 履修登録・予備登録の方法について

インターネットに接続できる環境があれば学外からでも可能。各種日程変更等の可能性もあるので、必ず最新情報を以下より確認してください。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/rishu.html>

☆「質問がある場合」
電話・メールでの質問には対応不可。質問があれば教務部窓口へ。

6 シラバスについて

講義の内容や評価の方法、受講に際する注意点などが閲覧できる。受講する科目のシラバスは必読のこと。

大学HPから閲覧 <https://syllabus.osaka-ue.ac.jp/>

KVCから閲覧 <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

3 授業を受けるに際して

1 授業時間

1 時限（1 コマ）は 90 分

時限	時間帯
1 時限	9:00～10:30
2 時限	10:45～12:15
3 時限	12:50～14:20
4 時限	14:35～16:05

時限	時間帯
5 時限	16:20～17:50
6 時限	18:00～19:30
7 時限	19:40～21:10

※定期試験期間中の時間は上記とは異なるので、注意が必要。

⇒『履修のてびき』P.17～21

2 出席情報

教室に入室したら、出席情報収集システムのカード読取機に学生証を読み取らせる。

☆「学生証を忘れたら」
出席をとる授業の場合、担当の先生に申し出てください。教務部に届け出る必要はありません。

3 休講・補講

やむを得ない都合により、授業が休講になるケースがある。
KVC を毎日確認すること。また、補講が行われることもある。
KVC <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

☆「KVC」
大学生活に必要な情報を個人ごとに参照できるサイト。履修情報などの情報を提供しています。

4 試験・レポートについて

『履修のてびき』 p22～26 を熟読しておくこと。

<春学期の時間割の考え方> 自分で考えて登録する科目は何単位分？

●春学期に時間割に入れることができる科目は次の【A】【B】の2種類があります。

【A】大学側ですでに登録している科目

【B】自分で考えて登録する科目

●【A】と【B】の合計単位数は最大で22単位です。

自分が外国語を何カ国語選択しているかで、【A】と【B】の合計数はそれぞれ違います。

下記の表で、自分で登録する最大の単位数を確認し、科目を考える参考にしてください。

【A】大学側ですでに登録している科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
全学共通科目〔外国語科目〕の必修外国語科目、学部基礎科目、A区分の必修科目で大学登録済み分	<合計>16単位分	<合計>18単位分
【B】自分で考えて登録する科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
配当年次が「1」の科目から自分で選択し登録する。 例：全学共通科目〔外国語科目〕の選択外国語科目、全学共通科目〔広域科目〕の①～④および⑥の科目や、①②の指定科目から選択、学部基礎科目のキャリア設計、経営と法の融合Ⅰ など	最大で6単位分 まで自分で登録可能	最大で4単位分まで 自分で登録可能